鎌倉の温古堂
創業弘化四年
盆提灯・仏壇
仏具・香・香炉
御宮・神具
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

6月1日号
2022年(令和4年)
第519号
毎月1日発行
(一部税込み110円)
http://kamakura-asahi.com

朝日 鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎ 0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

鎌倉殿の13人

大河ドラマ館来館5万人達成

6月からドラマで使用した義経の甲冑を展示

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映に合わせ3月1日鶴岡八幡宮境内に開設された「大河ドラマ館」の入館者が5月3日、開館64日目にして5万人に達した。

同館は、大河ドラマの放送を契機に、鎌倉の歴史・文化を全国に発信するとともに、観光振興による地域の活性化を図ろうと設立した大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会が運営する。同協議会では、鎌倉観光公式ガイドの作成や大河ドラマ関連情報発進の特設サイト開設、全国でも珍しい「しゃべる肖像ポスター」、鎌倉殿の13人の重臣ゆかりの地周遊マップの作成、シンポジウム、大河ドラマ館発ガイドツアーなどを行っている。

大河ドラマ館の展示は、ドラマの進行に則して展示内容が更新されていて、6月からはドラマで使用された義経の甲冑が展示される。小道具も追加され、目玉は上総広常の祈願書。4Kシアターには大倉幕府のメイキング映像も加わる。

大人千円、小人5百円。※入館時に受け取るパンフレットの提示で鎌倉国宝館・鎌倉歴史文化交流館各1回無料で入場可。(来年3月末まで)。

期間中何度でも入場できる年間パスポートも。感染症対策のため事前予約を勧めているが、当日券でも入館できる。

同協議会の久保田陽彦会長は「これからも情報を発信して大勢のお客様を迎えて盛り上げていきたい」と話している。

登場人物の衣装などドラマに合わせて更新＝大河ドラマ館・鎌倉

分身ロボットと話そう

障害者在宅就労 市が実証実験

鎌倉の大河ドラマ館のおみやげコーナーで5月から遠隔操作ロボット(分身ロボット)が稼働している。

市が、在宅就労の実証実験として、オリィ研究所(東京都中央区)との協定に基づき、運用しているもので、ロボットが同ドラマ館のみやげものの紹介などをしている。

ロボットの名称は「OriHime(オリヒメ)」。高さ約20㎝で目を光らせて、手(翼)を開いたり閉じたりして会話する。オリヒメのおでこに搭載されたカメラを通して、目の前の相手や、館内の様子を自分のパソコンに映して会話するのは、パイロットと呼ばれる業務委託の人たち。障がいのある人や、外出や就労に困難を抱える人たちが交代で対応。全国の20～50代の男女6人が登録している。

5月18日に担当した今井道夫さん(37)は、30歳のとき、身体表現性障害という病気で、勤めに出られなくなった。3年ほど前からオリヒメを活用して、沖縄のリゾテックEXPOで通信技術の説明をしたり、和歌山県のアドベンチャーワールドの仕事をしている。

「もともとコミュニケーションが苦手だったが、自分がどう見えているか気にせず仕事ができていい」と、はっきりとした口調で話していた。

ロボットの稼働は平日の午後2時半から4時半まで。期間は12月28日までの予定。

来場した少女と話すロボット(右上)

鎌倉 みほとけ紀行 (121)

題字は建長寺派管長 吉田 正道

昌清院・十一面観音菩薩立像

文 永井宗直
写真 原田 寛

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で盛り上がる鎌倉。鎌倉国宝館では「北条氏展」が開かれ賑わいを見せ、足繁く自分も拝観に向かいます。

仏像の展示室には多彩な御仏(みほとけ)さん方がおられ、時々何かこちらにやさしい目線を送ってくるような感じがします。そう、こちらが銅造十一面観音菩薩さまです。

像の縁(えにし)を調べてみるとても興味が沸きました。京都天龍寺(筆者の修行(むそう)した寺)の開山夢窓疎石(そせき)(円覚寺第十五世・瑞泉寺開山など、また七人の帝(みかど)から国師号を賜ったことから七朝帝師(しちちょうていし)といわれた室町期の高僧)が鎌倉山崎の地に北野神社(山崎天神)を勧請(かんじょう)、その本地仏(ほんじぶつ)がこの十一面観音の原型であったというのです。(諸説あり)

気になって山崎・北野神社に参詣しました。天神山参道の階段を、息を切らしながら登ると、社が静かに建っています。現在は樹木が多いですが当時の見晴らしのよさが伝わってきました。

まさにこの景勝地に夢窓国師は暦応年中に天神を祀り、山崎・宝積寺という寺を建て観音堂に本尊として四尺の十一面観音を安置したのではないかと伝えられています。

やがてその旧本尊を模造し銅造にしたものが現在の銅像十一面観音であるといわれます。宝積寺はすでに廃絶していますが、円覚寺塔頭黄梅院の末寺で、夢窓派の拠点であった古刹です。

後に近くの昌清院(臨済宗円覚寺派塔頭如意庵兼務)に移され、現在は鎌倉国宝館に委託所蔵されています。黒々と鈍く輝く像は重厚でありながら、そのお顔は微笑を浮かべやさしい気持ちにして下さいます。

銅造、像高150㎝、南北朝時代。

鎌倉の年中行事 6月

▼**葛原岡神社例大祭** 3日11時神前祭・墓前祭、関係者のみ。4・5日由比ガ浜へ神輿渡御中止。

▼**蛍放生祭** 11日19時、祭典のみ、鶴岡八幡宮。

▼**五所神社例祭** 12日例大祭10時、関係者のみ。10時半、神輿くぐり(材木座の子対象)。11時。神輿渡御。肖宮祭、見目明神祭、海上渡御、神楽中止。

▼**瑞賢忌** 16日10時、建長寺。江戸初期の豪商で治水工事や航路開発の功労者河村瑞賢の法要。

▼**大祓式・古神札焼納** 30日、鶴岡八幡宮。

プロムナード

私の仕事場は10年ほど前に銀座から鎌倉に移転しました▼自分自身は鎌倉で育ったので、「地元に職場」という感覚でしたが、働いてみると知らないことが多かったです▼移転当初は「商店会に属する」など、都内では経験しなかったことの連続でした。一番印象的なのは「托鉢」でしたが、商店会の人に優しく教えてもらえて対応もできました▼都内では同じビルでも、エレベーターに乗り合わせた人が「どこの誰なのか」が全くわからなかった状況から一転▼鎌倉では道を歩いているだけで、声を掛けてもらえる「お互いの顔が見える社会」で心地良いです▼リモートワークで地方への移住が流行していますが、人間関係を構築する場の必要性を感じています。(N)

鎌倉石屋
梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉の町並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
☎0467-24-7777
www.kamakura-standard.com

神奈川の"今"が一目でわかる
神奈川新聞 電子版
「カナロコ」
カナロコ 検索
カナロコならではオリジナル編集、まとめ記事、動画記事など
新聞紙面もそのまま見られます
www.kanaloco.jp
045-640-0125

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

かまくらに住まう かまくらで生きる
自然から身を守れる家づくりが清興建設のコンセプトです。
清興建設株式会社は平成27年度、「湯浅物産館」改修工事で、一般社団法人日本建築防災協会により耐震改修優秀建築賞を受賞。創業から現在まで「命守れる家づくり」を地道にコツコツ積み重ねております。
清興建設株式会社 ☎0467-24-3700 担当/久下(くさか) 定休日/水日祝 9:00～17:00